

JCメディア印刷部会

50周年迎え決意新たに

公益社団法人日本青年会議所(略称:JC)の「メディア印刷部会」が1963年(昭和38年)に設立され今年で50周年を迎えた。7月13日には東京ドームホテルで記念式典を開催した。現役員ならびに歴代部会長をはじめとするOB、OG、来賓など約120名が出席し、半世紀の節目を祝うとともに、部会の一層の飛躍を誓った。杉山純一部会長は「新たな51年目、そしてこれからの50年に向けて、もっともっと大きく生きていきたい」と決意を述べ、歴代部会長からも励ましの言葉が贈られた。

JCの絆、ここにあり

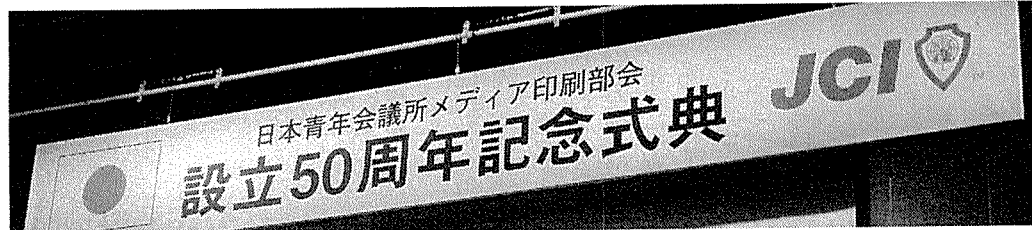
記念式典に120名が出席 歴代部会長が激励

当日は午後5時から記念式典、パーティーへ移った。活動を振り返りながら祝詞を述べた。講演に先立ち全印工連の島村博之会長が、自身の東京JCでの10年間の



杉山部会長

記念講演の講師は、林長。盛衰の分岐点、2020年をどう迎えるか?をテーマに林氏は、日本では2020年ま印刷部会長(仙台JC)があいさつした。



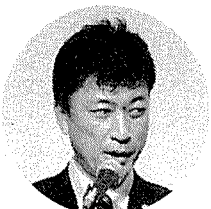
年齢も地域も越えて…。記念式典のもよう

「50年間にわたりみなさまのご尽力によりこの部会が発展してきたことに感謝申し上げます。日本青年会議所の業種別部会として1963年に印刷部会が誕生しました。2005年に、広告代理店やインターネット関連の業種が加わる形で『メディア印刷部会』となり、幅を広げてますます発展してきています。われわれは、日本青年会議所の運動と歩みを一つにし、これからも仕事を通じて地域社会の発

展に貢献していきます。講演会では、林先生の講話の中で、「大きく生きる」という言葉が特に印象に残っています。地域のリーダーとして生きるわれわれは、新たな51年目、そしてこれからの50年に向けて、もっともっと大きく生きていきたいと思っております。」



浅野25代部会長



井上緑友会会長

「私はJCには入っていないのですが、父(井上雅雄氏)が部会長を務めていました。その当時、小学校2年生だったと思い

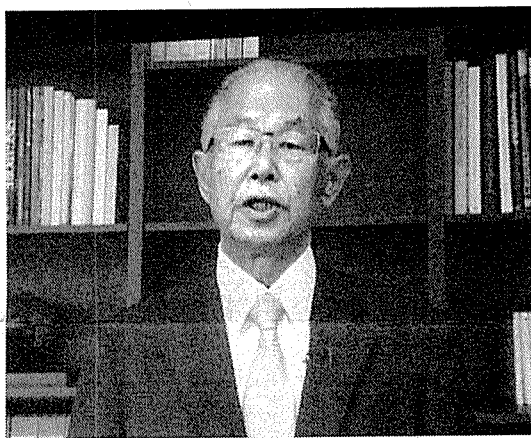


歴代部会長が登壇して鏡開き。井上雅雄第12代部会長の発声で乾杯を行った。

たこととはとてもラッキーなことですよ。私は山梨という地域で活動していますが、それが全国につながっていることを本当に幸せに思います。林先生の話にあらためて、これからの激動の10年にあたり、一所懸命働ける機会を得たいです。

また、36の業種別部会を代表してJC業種別会長の芳賀篤徳議長は「私も杉山部会長と同じ東北出身ですが、東日本大震災ではいろいろな苦労しました。震災を機に、真実を伝え、人の喜びや哀しみを伝えるメディア印刷部の仕事が重要視され

大日本印刷・北島社長からメッセージ



スクリーンから語りかける北島社長

時代が大きく変わる今こそ、伝統として継承すべきものと、革新すべきものを峻別して対処することが求められます。会員のみならず、今後継承すべき自社の理念を守りつつ、蓄積してきたさまざまなノウハウを武器として、社会の新たなニーズや課題を解決する存在を目指していただきたいと思っております。

伝統と革新と

JCMメディア印刷部の50周年記念式典では、第9代部会長の北島義俊氏(大日本印刷社長)からのビデオメッセージが紹介された。内容は次のとおり。

私が第9代部会長を務めたのは1971年、昭和46年ですが、日本が高度成長のピークを迎え、印刷業界もそれを上回る勢いで発展していた時代でした。

それから40年以上がたち、経営を取り巻く環境も大きく変わりました。

ひとつめの伝統を支えるものとは、家訓、社訓、社是などに記されている企業理念の継承です。一方、革新、つまり変えるべきものは、新しい成長戦略のもとで、印刷産業を再び成長産業へと導いてくださることを期待して、お祝いの言葉といたします。